

JCUF全国ユニオン通信

NO. 272

東京レインボープライドが 入場制限なしで開催！ 今年も相談会を実施！



日本最大のセクシュアルマイノリティのイベント「東京レインボープライド」が2023年4月22日～23日に東京・代々木公園で開催、今回も連合が出展し、全国ユニオンと全国労働金庫労働組合連合会（全労金）が協力して宣伝活動を行いながら、日本労働弁護団が相談対応に当たりました。

相談ブースの設置は2020年と2021年がコロナ禍で中止。昨年は入場制限を設けての開催でした。今年は、2019年以来の入場制限のない開催になりました。当日はやや気温が低い中でしたが、2日間で述べ約23万人が来場したと報じられ、例年以上の盛り上がりでした。

連合と共同しての東京レインボープライドでの相談ブースの取り組みは2017年から。今年の相談件数は第1日目は17件、第2日目は16件で計33件となりました。例年通り日本労働弁護団から常時2人以上が待機していたため、労働に限らず幅広い法律相談に対応できました。

以下で今回の特徴的な相談事例を紹介するとともに、過去5年間の相談件数を以下に紹介します。

【事例1】女性パートナー同士で部屋を借りたいが難しいか？マンションを購入するのはどうか？

【事例2】LGBTQだが、社長から「髪を切れ」「ネイルをやめろ」「うちではLGBTQは認めない」などと言われている。メンタルきつい。

【事例3】男性同士のカップル。海外で代理出産を予定。出産する国では同性同士パートナーの証明が出る。

その後、日本に連れてきた場合、親子関係やビザなどはどうなる？

表：過去5年間の相談件数の推移

	17年	18年	19年	22年	23年
一般的な労働相談	10件	16件	16件	16件	19件
セクシュアルマイノリティ関連	3件	22件	7件	12件	6件
その他	5件	9件	3件	9件	5件
分類不能	—	5件	2件	—	3件
計	18件	52件	28件	37件	33件

※2017年の相談件数は17件で表中は延べ件数。

※2022年以降は過去の分類と合わせるため「一般的な労働相談」はそのまま、それ以前の「セクシュアルマイノリティ関連の法律相談」と「セクシュアルマイ

ノリティ関連の労働相談」は「セクシュアルマイノリティ関連」に「一般的な法律相談」と「その他」は「その他」としてまとめた。